測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2023/06

Ver4.3.4 で追加、修正された機能を説明します。

・「GPS 条件」、条件を追加

１、「GPS 条件」、条件を追加

掲示板にて、要望がありましたので追加しました。

<――― データ取得間隔を１秒にする
<――― Fix から Float になった場合に警告する
この２つの条件を追加しました。

□データ取得間隔を１秒にする

Drogger GPS で　計測・更新レートを 8Hz や 10Hz にしていると思います。
この場合、平均回数１０で「登録」すると１秒ほどのデータで　登録、平均処理が完了します。

「１秒間隔で、１０エポックを取得する（連続である事）」という規定もあるので、
Drogger GPS 側の更新レートにかかわらず
１秒毎のデータを取得する設定です。
(A-AdB を公共測量で使用するというものではありません。)
(公共測量、手簿、記簿など Drogger GPS で出来ます。)

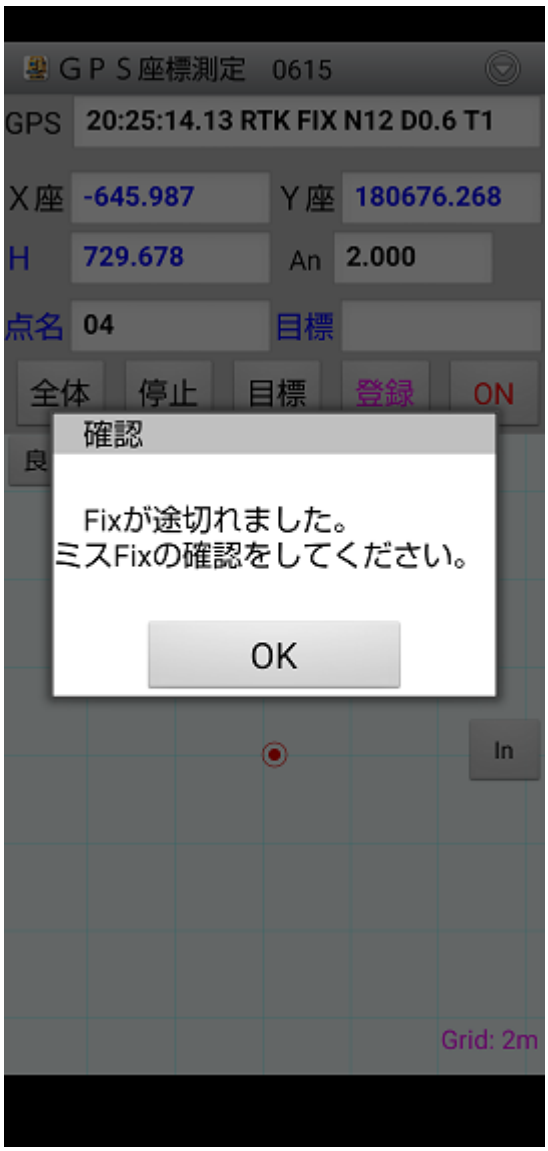
例えば、下記のデータの場合
49.88
50.00　○　１エポック目
50.13
50.25
50.38
50.50
50.63
50.75
50.88
51.00　○　２エポック目
51.13
51.25

の様に、秒のデータを取得して登録します。
これで、Drogger GPS の設定を変更することなく
「１秒間隔で、１０エポックを取得する」で登録できます。

Drogger GPS 側の更新レートに関わらず、「.00」 のデータは必ず出力されるように
何時かのバージョンから、なっていると思います。
皆さん、最新を使用されていると思いますので、問題ないです。

□Fix から Float になった場合に警告する

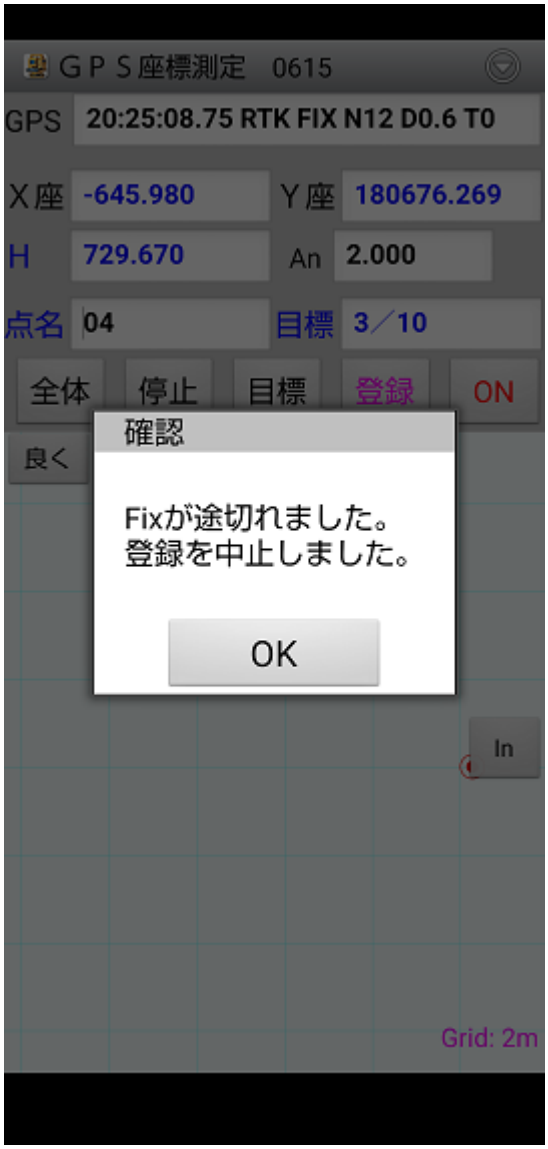
RTK Fix 状態から、衛星受信状態により　RTK Float 解になった場合に
警告のメッセージを表示します。



警告だけで、受信は継続し表示なども更新されます。

再度、Drogger GPS 側で再初期化(ホットリスタート)するなど判断してください。

「登録」ボタンで、登録中に、Float 解になった場合は、登録を中止します。
「１秒間隔で、１０エポックを取得する（連続である事）」という規定より。



□Fix から Float になった場合に警告する
にチェックしていない場合は、Fix 解を待って指定エポック分を取得します。